

経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 岐阜県総合医療センター

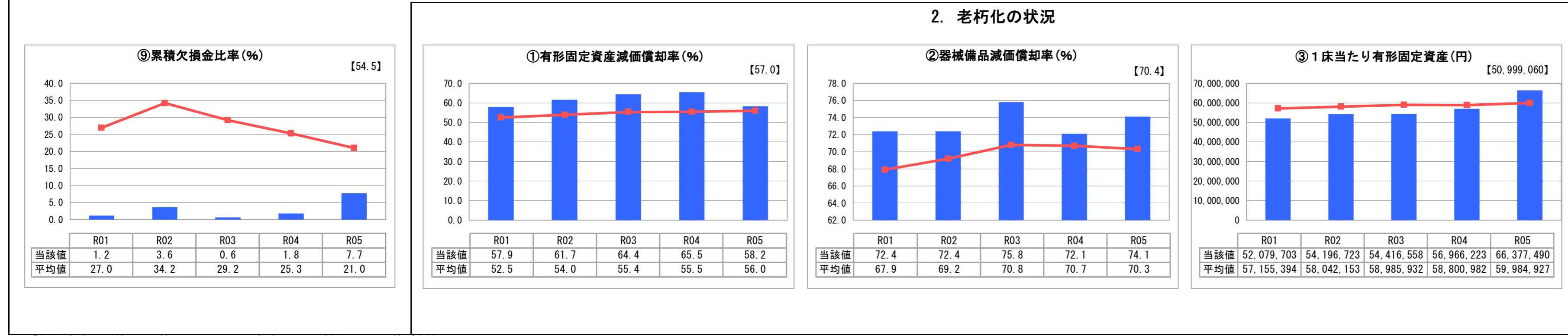
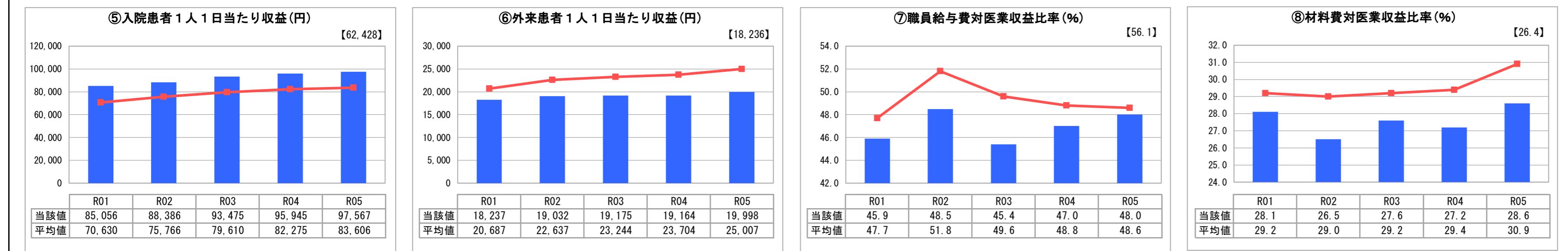
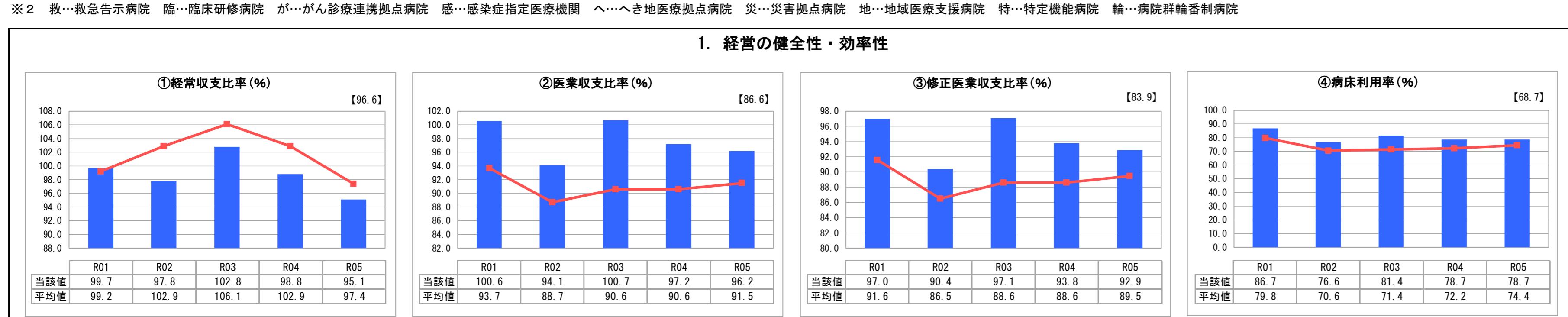
法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	40	対象	透 I 未 訓 ガ	救 臨 が へ 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	68,179	非該当	非該当	7 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…べき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
620	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	620
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
577	-	577

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
【】令和5年度全国平均



経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	平成22 年度	- 年度

Ⅰ 地域において担っている役割
県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるよう、岐阜県地域医療構想に基づき、岐阜圏域の基幹病院として近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度急性期医療、急性期医療、先進医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供しています。
Ⅱ 分析欄
1. 経営の健全性・効率性について
●経常収支・医業収支・累積欠損金比率 大規模な設備投資による控除対象外消費税の増加や新型コロナウイルス関連補助金の減少の影響で、経常収支・医業収支比率とともに前年度を下回りましたが、医業収支比率は平均値以上を維持しています。また累積欠損金比率も前年度を上回りましたが、低い水準を確保しています。
●病床利用率 前年度の数値を維持しており、平均値を上回る高い水準を確保しています。
●入院患者・外来患者1人1日当たり収益 経年比較で入院・外来共に増加傾向にあり、安定した収入が確保されています。外来の収益については、院外処方を行っているため、平均値よりも低い値となっています。
●職員給与費対医業収益比率 平均値を下回る比率を維持していますが、新型コロナウイルス関連補助金の縮小に伴う医業収益の減少により、前年度の比率を上回りました。引き続き適正な職員配置に努める必要があります。
●材料費対医業収益比率 平均値を下回る比率を維持できていますが、物価上昇により増加傾向です。
2. 老朽化の状況について
●有形固定資産減価償却率 南棟の完成により前年度の値を下回りましたが、経年比較では増加傾向にあり、平均値を上回る比率が続いています。今後は本館設備更新等が予定されており、計画的に更新を進めています。
●器械備品減価償却率 前年度の値を上回り、平均値を超える比率が続いています。今後は南棟放射線医療機器等の導入が予定されており、数値の減少が見込まれますが、可能な限り長寿命化を図ります。
●1床当たり有形固定資産 南棟の開設により前年度の値を上回り、平均値を超える金額となりました。今後も資産については、可能な限り長寿命化を図ります。必要性を考慮し、計画的に整備を行っていく必要があります。
全体総括
大規模な設備投資による控除対象外消費税の増加や新型コロナウイルス関連補助金の減少等の影響を大きく受けましたが、概ね経営上の健全性は確保されています。引き続き、岐阜圏域の基幹病院として中心的な役割を担うことができるよう、必要な人員の確保、施設・医療機器の整備及び更新を計画的に行っていく必要があります。
また、国の医療制度改革や診療報酬改定に迅速に対応するとともに、医療機器の計画的な整備やDPCの分析、契約方法の見直し等を継続的に行っていく必要があります。
今後も、岐阜県地域医療構想や岐阜県保健医療計画に基づき、他の医療機関との役割分担や連携の下、岐阜圏域の基幹病院としての役割を果たしていきます。

*「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。